

シンポジウム

デリダと 死刑を 考える

2017年10月7日(土)
10時30分から17時まで
慶應義塾大学 日吉キャンパス
来往舎2階 大会議室
予約不要・入場無料

ジャック・デリダの死刑論講義が『死刑 [I]』(白水社)として刊行されました。彼は死刑廃止論に与していますが、この講義では多様なテキスト(哲学、文学、法文など)を俎上に載せ、存置論・廃止論の全体を再検討に付しています。この機会に、デリダによる「死刑存廃論の脱構築」を細かく読解し、さらには死刑制度全般を再考することができればと考えています。

10:30 – 12:00

高桑 和巳 (導入)

(慶應義塾大学理工学部准教授)

石塚 伸一

(龍谷大学法学部教授)

福田 真希

(リール第2大学連携研究員)

13:00 – 14:40

江島 泰子

(日本大学法学部教授)

梅田 孝太

(上智大学ほか講師)

増田 一夫

(東京大学大学院総合文化研究科教授)

14:50 – 16:00

鵜飼 哲

(一橋大学大学院言語社会研究科教授)

郷原 佳以

(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

16:10–17:00

全体討議

主催 「デリダと死刑を考える」(慶應義塾大学学事振興資金助成)

後援 慶應義塾大学教養研究センター

協賛 アムネスティ・インターナショナル日本、脱構築研究会、白水社

問い合わせ 理工学部 高桑和巳研究室 (kazumi_takuwa@ymail.plala.or.jp)